

# 第72回 AIST・筑波大学・TCIベンチャー技術発表会のお知らせ

主催 筑波大学・産業技術総合研究所・(株)つくば研究支援センター

筑波研究学園都市の大学・研究所・地元ベンチャー企業等の技術交流及び活性化を目的とし、AIST/筑波大学/TCIベンチャー技術発表会を下記要領にて開催いたします。

- 1 日時 平成30年9月10日(月) 14:00~15:00
- 2 場所 つくば研究支援センター 研修室B (つくば市千現2丁目1番6)

## Program

午後2時00分から2時30分

### スマホで安心。ドクターシェアリング「LEBER」

LEBER(リーバー)は、「24時間・365日スマホで医師と相談できる」医療相談アプリケーションです。近年、話題となっている「遠隔医療」のカテゴリーの「遠隔医療相談」に属します。業界で唯一スマホを通じて医師が「症状に合った標榜科を有する医療機関のMAP表示」や「症状に合った市販薬の紹介」を行うことにより、ヘルスリテラシーの向上とセルフメディケーションの推進を図り、日本の医療費削減と持続可能なヘルスケアシステムの構築を目指しております。

発表では、現在提供している企業向けのサービスの紹介や今年8月に採択された内閣府主導「近未来技術等社会実装事業」を通して目指すビジョンについてお話をさせていただきます。

発表者：株式会社AGREE 代表取締役 伊藤 俊一郎 氏

URL：<https://leber11.com/>

全国の医師をつなぐドクターシェアリングプラットフォーム



午後2時30分から3時00分

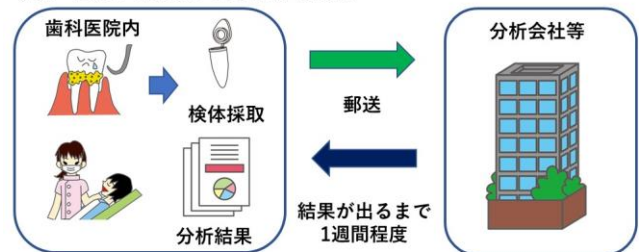
### 歯周病菌の即時分析装置の開発

口腔細菌感染症の1つである「歯周病」は、過去の調査で日本人の約80%が罹っていると報告されている。超高齢化社会を目前に控え、QOLの向上には歯周病に対する予防対策が急務である。口腔内のプラーク中に、どんな種類の歯周病菌がいるかで歯周病リスクが大きく変化することが知られている。特にレッドコンプレックスと呼ばれるP.g菌、T.d菌、T.f菌の3菌種は歯周病患者から高い頻度で検出されることが多く、これら3菌種の菌種・菌量を経時的に把握することは歯周状態を知る上で高い意義があると考えられている。現状では、歯科医院内で歯周病菌の菌種・菌量を即時に分析することは難しく、唾液等を検査会社に郵送して検査することが一般的であるが、時間とコストがかかるため普及しているとは言い難い。本発表では、歯科医院内で歯周病菌の菌種・菌量を即時分析可能な小型装置について開発状況を報告する。

発表者：ラスケーズ株式会社 取締役 原 雄介 氏

(産業技術総合研究所 機能化学研究部門 研究グループ長)

現状：唾液等を郵送して歯周病菌を分析



本提案：歯科医院内で歯周病菌を即時分析可能な装置を開発する



■申込方法：会社名・所属・氏名・連絡先をE-mail：[venture@tsukuba-tci.co.jp](mailto:venture@tsukuba-tci.co.jp)までご連絡下さい。

つくば研究支援センター 担当：石塚・後藤 TEL:029-858-6000

※E-mail アドレスを変更しました。